

## 令和4年度 玉葉会乳児院事業報告

【施設種別】 児童福祉法による乳児院	【入所定員】	35名
	【ショート定員】	2名

今年度も、コロナ感染症の影響を受けた一年であった。入所児童の感染が3回発症し、職員が厳しい隔離対応に迫われ職員も多数感染してしまった。

令和2年度に小規模化改修工事を行い、小規模ユニットでの運営が2年目であり、部屋の生活環境を整えつつ、家庭的養護を目指して養育の体制を考えていった。まだ、いろいろな背景を持つ子ども一人ひとりをしっかり見て育てるには、課題があり、子どもとの繋がりを深めるために、職員の配置を固定化できるようにしていく。

多機能化に求められる親子、里親支援としては、今年度は家庭復帰5件、里親委託4件支援した。また、訪問支援事業も実施件数が増え、多様な要望に応じていった。地域親子支援として、施設ショートステイ、及び里親ショートステイも多数受け入れ支援が必要な親子を援助した。

### 1 理念

明るい笑顔で のびのびと

### 2 年間養育目標

- 1 一人一人の姿や気持ちに寄り添いながら、愛着関係を築いていく。
- 2 いろいろな経験を通して、心身共に豊かに育てる

### 3 職員関係

#### 1 職員の状況（令和5年3月31日現在）

区分	施設長	医師	事務職	看護師	保育士	栄養士	調理員	心理士	その他	計
常勤	1	0	1	6	27	1	4	2	0	42
非常勤	0	1	0	0	8	0	0	0	4	13
合計	1	1	1	6	35	1	4	2	4	55

## 2 諸会議・研修会

- |           |     |           |      |
|-----------|-----|-----------|------|
| (1)職種別会議  | 月1回 | (6)看護師会議  | 月1回  |
| (2)リーダー会議 | 月1回 | (7)調理会議   | 月1回  |
| (3)養育会議   | 月1回 | (8)衛生委員会  | 月1回  |
| (4)クラス会議  | 月1回 | (9)係会議    | 隔月1回 |
| (5)給食委員会  | 月1回 | (10)各種委員会 | 適宜開催 |

- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| ① 名古屋市権利擁護委員会・研修   | ③ 新規採用者研修 |
| ② ファミリーソーシャルワーカー研修 | ④ 中堅職員研修  |
- 《オンライン研修》
- |            |                 |
|------------|-----------------|
| ⑤ 全国乳児院研修会 | ⑨ 保険・衛生研修       |
| ⑥ 全乳協施設長研修 | ⑩ 県乳協各職種部会      |
| ⑦ 医療看護セミナー | ⑪ 東海北陸ブロック各職種会議 |
| ⑧ 権利擁護研修   | ⑫ 新規職員採用者研修     |

## 3 施設整備の状況

- 1 厨房 冷凍ストッカー購入
- 2 乳児室 哺乳瓶殺菌子購入

## 4 栄養と食生活

- 1 子どもの栄養状態、体調を把握し、そのときに合った食事の提供
- 2 月に2～3回昼食に焼きたてのパン・ピザをメインに提供
- 3 誕生日に手作りケーキを提供
- 4 個々に合った食事の提供
- 5 行事食等、子どもの食事の充実
- 6 4・5・10・11月の行事の無い週の水曜日にお弁当を提供

## 5 防災・防犯対策

- 1 防災訓練(月1回)、大規模地震発生を想定した炊き出し訓練(年1回)、警察署員の指導の下防犯訓練(年1回)、その他竜巻訓練・土砂災害訓練(年1回)等の実施。
- 2 消防署員の指導にて消火器訓練、及び火災時の避難誘導のレクチャーを受けた。
- 3 防災倉庫の点検・備品の補充。
- 4 院の改装の完了に伴い、新しい生活拠点においての避難経路図の作成・貼り出し。
- 5 防災マニュアルの作成・職員への配布。

## 6 衛生委員会(月1回実施)主な活動内容

- 1 コロナウイルス感染症対策  
産業医より状況、傾向など情報提供してもらい随時の対策に活かした。
- 2 職場巡視、各所営繕  
週1回施設内を巡視し衛生面も含め、環境整備に努めた。

- 3 職場の「困った」起案シートの活用  
職場環境改善のための意見箱を設置し改善に努めた。
- 4 熱中症対策  
気温、湿度を表示し、注意喚起をする。
- 5 ストレスチェック 受検率 97.5%  
①自覚的な身体的負担 ②心理的な仕事の負担(質) ③職場での対人関係ストレス
- 6 腰痛対策・夜勤業務負担軽減  
・授乳時の腰痛予防のクッションを購入  
・目の負担軽減のパソコンライトを購入
- 7 メンタルヘルス対策  
ラインケア研修とセルフケア研修を外部講師に依頼し実施。

## 6 児童関係

### 1 行事（年間行事・随時行事）

月別	行事名	概要	月別	行事名	概要
4月	お花見 絵本の読み聞かせ	近隣公園 院内	10月	運動会 ハロウィン	院内開催 院周辺
5月	こどもの日 遠足	院内 東山動物園	11月	芋掘り 七五三詣 遠足 お店屋さん	院畑 熱田神宮 近隣施設 院内
6月			12月	買い物 クリスマス会	近隣施設 多目的室
7月	七夕会	遊戯室	1月	初詣	近隣神社
8月	夏祭り	院内	2月	節分 お店屋さん	遊戯室 院内
9月	花火大会 お月見	院庭 遊戯室	3月	ひな祭り いちご狩り	遊戯室 近隣施設

### 2 児童状況

#### (1) 月別入退所児童数（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
一時保護	7	7	5	4	5	9	11	12	14	10	9	10	103	8.6
初日 在籍数	13	13	14	15	15	16	16	15	16	19	19	19	190	15.8
入所 児童	2	1	1	0	1	0	0	2	4	0	0	3	14	1.2
退所 児童	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	9	14	1.2

措置延 人員	418	418	444	465	481	462	434	450	556	589	532	565	5824	24.2
一時保 護延	182	211	130	149	228	293	342	355	310	284	247	295	3026	

一時保護は以降の集計には含めない

(2) 月齢別在所児童数（令和5年3月31日現在）

月齢	6ヶ月未満	6ヶ月以上 1歳未満	1歳以上 1.5歳未 満	1.5歳以上 2歳未満	2歳以上	合計
在院児童	0	0	3	2	9	14

(3) 在所期間別退所数（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

在所期間	1ヶ月未満	1ヶ月～ 3ヶ月未満	3ヶ月～ 6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年～ 2年未満	2年以上	合計
退所児童	1	0	2	3	4	4	14

(4) 退所理由別、退所年齢（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

親元 引取	親族 引取	里親 委託	他施設に措置変更		その他	合計
			児童養護	その他		
5	0	4	5	0	0	14

(5) 入所理由（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

両親の状況													
遺 棄	親 蒸 発	父 家 出	母 家 出	親 別 居	母 未 婚	受刑等			父 虐 待	母 虐 待	親 死 亡	養 育 困 難	小 計
						親	父	母					
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	8

家族の疾病							合計
父の疾病		母の疾病			家族の疾病	小計	
精神病等	その他病気	精神病等	次子出産	その他病気			
0	0	6	0	0	0	6	14

(6) 入所時の子どもの年齢

子どもの年齢	人数
1ヶ月未満	0
～3ヶ月未満	1
～6ヶ月未満	1
～1歳未満	6
～2歳未満	5
2歳以上	1
合計	14

(7) 入所時の母の年齢

母の年齢	人数
20歳未満	1
～25歳未満	2
～30歳未満	1
30歳以上	8
不明	2
合計	14

3 ショートステイ利用状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	2	2	2	1	0	0	1	3	0	1	5	1	18

利用理由	母の出産	母の疾病	育児疲労	利用日数	5日以内	10日以内	11日以上
	5	5	8		15	1	2

4 地域交流事業（母と子のふれあい広場）

コロナウイルス感染拡大防止の為、規模縮小し年3回・一回5組までの制限を設けて実施。

（8月はコロナウイルス感染拡大の為中止、10月・11月・3月開催）

事業名	母と子のふれあい広場「ありんこ」
第1回	令和4年4月4日 場所：会議室 内容：今年度の活動の内容や役割分担 ：ふれあい事業の院内周知活動を考える。
第2回	令和4年5月1日 場所：会議室 内容：ブログ投稿（絵本紹介） ：ブログに掲載予定のレシピの決定 ：ふれあい広場のチラシ配布
第3回	令和4年7月4日 場所：会議室 内容：ブログの投稿（読み聞かせの効能） ：ブログ用掲載用のおやつ作り ：開催用おもちゃの製作
第4回	令和4年8月26日 場所：院内コロナ感染のため開催中止 内容：
第5回	令和4年10月19日 場所：小幡緑地公園・会議室 内容：「運動会」開催。 ：開催時の振り返りとアンケートの集約。 ：ブログ掲載「ハロウィンのカップケーキ」 「絵本の紹介」 ：ブログ掲載予定のお菓子づくり
第6回	令和4年11月18日 場所：屋上 内容：「お店屋さんごっこ」開催
第7回	令和5年2月8日 場所：会議室 内容：ブログ掲載と作成 ：ペーパーサート作成
第8回	令和5年3月13日 場所：2階多目的室 内容：「いちご狩り」開催 ：一年の反省等、振り返り ：次年度に向けて物品・資料整理。

## 7 家庭支援専門相談員実績

家庭・関係機関との連携状況 令和4年4月1日～令和5年3月31日

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12
面会	13	6	5	5	9	40	19	19	30
外出	5	9	5	2	0	0	1	0	1
外泊	6	3	0	1	1	1	4	3	11
サポート会議 家族応援会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1	2	3	合計
9	13	16	184
0	1	1	25
8	8	5	51
0	2	2	4

コロナウイルス蔓延の為、面会、外出、外泊を中止したことによって家庭との交流がなかなかできなかった。対応策として定期的にメールで写真を送り子どもの様子が分かるようにしたり電話での問い合わせを充実させたりした。また状況を見ながら条件付きで面会、外泊を再開していった。更に職員が家庭へ子どもを連れて行つての面会も行い少しでも保護者と触れ合うことができるように配慮した。

## 8 育児指導担当職員

家族・関係機関との連携状況 令和4年4月1日～令和5年3月31日

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12
サポート会議	0	1	0	0	0	0	1	0	0
家族応援会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭訪問	5	5	6	6	4	5	4	7	6

1	2	3	合計
0	0	2	4
0	0	0	0
7	6	9	70

令和2年4月から配置された役割。

基本的に一時保護入所児が家庭復帰を目指し、児童虐待の未然防止及び再発防止のための保護者への養育支援等を行うことを目的として配置された。

主な活動は、家庭復帰する前から訪問支援を行い、保護者の育児困難感に寄り添い、育児について共に考え、家庭復帰後も安心して家族が生活できるよう子育てのサポートをおこなう。家庭訪問だけでなく、電話相談やメールでのやり取りも行い、保護者との信頼関係の構築を目指している。

家庭訪問を定期的に行うことにより、施設内では見られないような保護者のリラックスした様子が見られ、より深い話を聞くことができる。  
令和4年度は、コロナ禍で活動制限があったが、その中でも工夫して誕生日にプレゼントを保護者宅まで取りに行くことや、長期目標で家庭復帰を目指していても児相の外出許可が出ていない児童には児相と連携して育児指導担当者同席のもと家庭訪問し、児童が自宅で過ごすことができるようにするなどを実施した。

## 9 里親支援専門相談員 実績活動報告書

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問	里親宅	22	18	30	24	17	24	24	20	28	20	18	23	268
	施設	4	4	9	6	5	7	5	3	1	5	4	0	53
電話	里親宅	27	20	19	12	18	16	11	9	10	11	12	20	185
	施設	44	35	44	21	41	38	27	40	31	50	32	24	427
メール	里親宅	36	81	82	78	34	47	65	138	88	80	90	78	897
	関係機関	35	35	57	38	18	26	32	27	19	32	37	11	367
来所	里親宅	9	0	3	0	1	4	3	1	4	7	0	4	36
	施設	5	2	5	1	4	2	3	1	2	4	1	3	33
里親研修など		1	2	2	0	1	1	3	2	2	0	1	0	15
マッチング		3	2	2	1	2	3	2	1	2	2	1	0	21
自立支援計画		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レスパイト		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サロンなど		2	1	0	1	0	1	2	0	0	2	0	0	9
里親ショートステイ		4	3	4	3	0	3	3	2	3	4	3	0	32
計		192	203	257	185	141	172	180	244	190	217	199	163	2343

児童相談所の里親担当職員・里親委託等推進員・ケースワーカーと役割分担して里親宅を訪問した。訪問では子育ての助言や里親の近況報告を聞き、相談支援を行い、里親の育成としては、新規里親研修の基礎研修、登録前研修、更新研修の補助を行った。

乳児院から里親支援する里親と児童のマッチングから交流、委託への育児指導、相談支援、助言、児童との調整を行った。R4年度は里親委託が3件、交流中が1



件あり、部屋リーダーや担当保育士と協力し、児童と里親の交流を進め、委託までの支援を行った。乳児院でコロナが発症し、隔離が続いたためマニュアル通りの交流ができなかったが、里親と話し合いをしながら子どもも里親も安心して委託開始できるよう交流支援を行った。

地域の親子支援としての里親ショートステイの調整、送迎を職員と協力しながら行った。定期的に利用される世帯が多く、同じ里親宅へ毎月ショートステイすることで保護者や児童が安定した生活を送れるよう支援した。

## 10 心理士

心理士 2 名で役割分担し、それぞれ養育補助と生活場面面接を中心に活動した。加えて、クラス会議での子どもの心理的見立ての共有、子どもの発達情緒について理解を深めるための啓蒙活動、職員とのコンサルテーション、職員間のコミュニケーションの橋渡しを実施した。それらの活動を通して、心理士の役割理解を得ながら、子どもの心身の健康を育むための関わりや環境について考える態勢づくりに尽力した。